

軽くて丈夫 新素材の塀 TF WALL



TF WALL が「選ばれている」5つの理由

01 TF WALL は控え壁不要

TF WALL には控え壁が必要ありません。建築基準法で、ブロック塀は高さが 120cm を超える場合は控え壁を 40cm 出すことを定められています。

02 ブロック塀よりも軽量

TF WALL はブロック塀と比べて 1㎡あたり約 235kg ほどの重量の差があります。この軽さが控え壁を必要としない理由と、万が一倒壊しても大事件になりにくいので、安心を届ける理由です。

03 とても頑丈

TF WALL は大人が蹴っても大丈夫なぐらい強度に自信があります。EPS(特殊発泡スチロール)の上から 5 層の仕上げによって、大人が思いっきり蹴っても大丈夫な塀に仕上がります。

04 180cmの高い塀が手に入る

通常、建築基準法によりブロック塀では高さのある塀を施工することはできません。TF WALL は軽量のため、危険を懸わっている 180cm の高さの塀も施工可能です。

05 デザインの自由度が高い

EPS(発泡スチロール)が基材になっているので、波打ったデザインや穴を開けたりすることも容易です。ブロック塀だとかなり難易度が高い加工が EPS なら簡単に実現することが可能です。

TF WALL と他の塀との比較



ブロック塀

価格 強度 デザイン性 可能高さ

◎	△	△	△
	危険性が懸わられている		1200mm 以上は控え壁が必要

価格は安い危険性が懸われており高さによって控え壁が必要。自治体によっては高さ制限があり、デザインにも限界がある。



コンクリート擁壁

価格 強度 デザイン性 可能高さ

△	◎	△	◎
とても高額		そのデザインに限りがある	

とても強度があるが、高額。施工期間が長く、デザインの幅が狭い。



TF WALL

価格 強度 デザイン性 可能高さ

◎	◎	◎	◎
仕上げによって安全			1800mm まで可能

シンプルなデザインなら安価。軽重ながら思いっきり蹴っても割れない。様々なお洒落なデザインが可能。1800mm の高さでも控え壁が必要無し。

高強度で軽量、しかも控え壁など余計なスペースは一切不要
TF WALL とその他の塀の違いをWEBで詳しくご説明します

TFウォールページ

<https://takumiya-style.co.jp/tf-wall/>

